・・・表より続く・・・

「教育の無償化（3歳児～5歳児）になったのだから」と言いますが、無償化になったのは「基本的保育料」だけ。私（黒田）が調べただけでも、私立園では、園に違いはあるものの、願書手数料や検定料という項目で1000円～20000円、施設費で20000円～40000円、特定保育料や教材費、冷暖房費、保護者会費などなど。他にも制服代やバス代、特色のある教育費等がかかります。

幼稚園定員割れの原因は？

こどもの数が減って統廃合せざるを得ない時、通園バスを走らせて公的教育・保育の責任を果たしている自治体もあります。

川西市の場合は、「3歳児・預かり保育、給食実施」という保護者の要望に応えれば、定員割れは解消します。

2号（保育所3～5歳児）は定員超過

公立の認定こども園では、3歳児・預かり保育、給食を行っているため、3歳児の児童は結構います。2号（保育所3～5歳児）児童はいずれも定員をオーバーするアンバランスも起こっています。（下表）

川西市は、当初の設定からこども園全体の定員と1号・2号・3号定員のバランスを地域の実態に応じて考えていないための結果です。

保育所の待機121人

保育所の待機児童が2月1日時点で121人。3号認定児童が117人（97%）占めているだけでなく、3歳児にも待機児童が生まれています。保護者が希望する園に入ることができるというこども園の目的とは裏腹な状況、市の公的教育・保育責任を果たしているとは言えない状況が明らかです。

清和台幼は耐震補強済み

清和台幼稚園は2014（H26）年に耐震補強工事を終えています。廃園ではなく、まずは3歳児・預かり保育、給食の実施を行うことや認定こども園化をして、待機児童解消を含め地域の子育てを応援することです。

東谷幼は3歳保育こども園化を

4歳児の入所が5人未満になれば廃園を検討するとしている東谷幼稚園は、Is値0.79と耐震化でも問題ありません。3歳児・預かり保育、給食の実施を行うことや認定こども園化を行い公的責任を果たすべきです。特に東谷中学校区はこれから住宅開発が進んでいきます。今こそ、保護者・地元の要望にこそ応えるべきです。

川西市の合計特殊出生率は1.21（2020年）。全国平均1.34、兵庫県平均1.40。安心してこどもを産み、子育てできるまちづくり、若い人に選んでもらえ住み続けてもらえる子育て施策を充実させることが世代交代する上でも大切です。

※次号からも継続してお伝えしていきます。

公立認定こども園（2022年1月1日時点の入所児童数）（　）内は園全体の定員

こども園（人）		定員	3歳児	4歳児	5歳児	合計	3号（定員27）		
							0歳児	1歳児	2歳児
牧の台	1号	70	18	24	25	67			
（130）	2号	33	13	12	15	40	6	10	11
加茂	1号	170	37	49	37	123	6	10	11
（230）	2号	33	15	13	18	46			
川西	1号	70	14	18	11	43	5	10	12
（130）	2号	33	15	15	18	48			

＊認定こども園は、1号（幼稚園3～5歳児）、2号（保育所3～5歳児）、3号（保育所0～2歳児）児童が入所しています。

川西市は、こども園建設時に、緑・加茂・川西保育所を廃園にしています。

ロシアがまさかの侵略。一刻も早く停戦を！市議会も全会一致で非難決議！

まさか今、戦争が起こるとは思ってもいませんでした。2月24日、ロシアがウクライナへの侵略を開始しこども達を含むたくさんの市民が犠牲になっています。日常の生活に落ちてくる爆弾。愛する家族や友人が命を奪われ傷ついていく戦争の非人道性を連日目の当たりにして心が痛みます。

日本共産党志位和夫委員長は即刻、緊急声明「ウクライナ侵略を断固糾弾する。ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ」を出し、ロシア、ウクライナをはじめ各国大使館に送付しました。

私も居ても立っても居られなくなって、地域の方と一緒に各駅前などで共産党の緊急声明をお伝えし、「日本共産党綱領・あなたの疑問？にこたえますパンフレット」をお配りしながら、「一刻も早く停戦を、軍隊の撤退を」と訴え続けています。ぜひ、見つけたらお声をかけてくださいね☺

プーチン大統領・政権は核兵器の脅しを含め原子力発電所の占領・包囲、攻撃や、住宅・病院などへの爆撃を繰り返しています。ロシア国内からも「戦争やめろ」の声が上がっています。世界中が連帯して戦争を終わらせようと努力し続けています。

私（黒田）も微力ですが、ウクライナへの支援募金をはじめています。日本共産党中央委員会は集まった募金を　国連児童基金（ユニセフ）に約2000万円（第一次分）を寄付しました。

雨の畦野駅前、「買物したおつりやけど」と募金箱に入れてくださった方、駅に行くのにわざわざ寄ってお声をかけてくださった方、ありがとうございます。責任を持って中央委員会に届け、その後もご報告させていただきます。

あらためて、「2度と戦争はしない」「国家間の紛争は交渉で解決を」と定めた日本国憲法九条の大切さを　実感しながら、「命を奪わないで、人生を終わらせないで」「戦争反対・平和が一番・九条守れ・活かせ」と訴えています。

※　川西市議会は3月4日、全会一致で「ロシアのウクライナ侵略を非難する決議」をあげました。